

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
工場近代化計画（家具・ガラス・光学機器）事前調査 海 3	<p>烟台（家具）、上海（ガラス製品）、天津（光学機器）の3工場に対し工場診断を実施し、それに基づき各工場の近代化計画を策定するものである。</p> <p>今回事前調査においては、上記工場の概略調査および中国側計画等の把握を行い、本格調査の枠組みを取り決める合意書に署名した。</p>	国家経済委員会
瓊江水力発電開発計画 海 4	<p>中国南部湖南省瓊江水力発電開発計画（灘坑・黄浦の2地点）に関し、その技術的・経済的妥当性について評価・検討を行うものである。</p> <p>本年度は、中間報告書を提出し、さらに詳細は検討を行い、灘坑地点の最終報告書ドラフトを提出し、その説明を行った。</p>	電力工業部
安慶地区資源開発調査 資 8	<p>同国安徽省安慶銅鉛山精密探鉛協力事業として基本的精密探鉛方法を策定し、設計調査および坑道探鉛、坑内試錐による坑内地質調査を実施し、基礎的鉛山開発の損益評価を行うものである。</p> <p>本年度は坑道調査として立坑を55m実施した。</p>	冶金工業部

インドネシア

ジャワ島幹線鉄道電化計画 開 3	<p>ジャワ島の幹線鉄道の電化計画について2000年を目標にしたM/Pの作成および緊急性の高い区間についてF/Sを実施するもので、本年度は4月に事前調査団を派遣し、S/Wを締結した。またこれに基づく本格調査を実施し、資料・情報の収集、現地踏査等を実施した。</p>	運輸省陸運総局
ジャカルタ大都市圏鉄道輸送計画（チェンカレン空港鉄道線） 開 3 4	<p>1984年に開港が予定されているチェンカレン空港とジャカルタ市を結ぶ鉄道新線建設計画についてF/Sを実施するもので、本年度は7月に事前調査団を派遣し、S/Wを締結した。またこれに基づく本格調査を実施し、インセプションレポートの作成・協議、現地調査、インテリム・レポートの作成・協議およびドラフト・ファイナルレポートの作成・協議を行った</p>	運輸省陸運総局
ドマイ港整備計画 開 4	<p>インドネシア国スマトラ島に位置するドマイ港の長期計画の作成ならびに短期計画にかかるフィージビリティ調査の実施をするもので、本年度は、インセプションレポートの作成、協議、資料収集、現地踏査等の現地調査を実施し得られた資料を分析し中間報告書を作成した。</p>	運輸省陸運総局

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
インドネシア 海上無線通信 網整備拡充計 画 開 1	西暦2000年を目途としたインドネシアにおける海上無線通信網の長期開発計画を作成するもので、本年度は最終報告書を送付した。	海運総局
スラウェシ電 気通信網整備 計画 開 4	インドネシア政府の要請に基づきスラウェシ島の地上伝送路網のF/S調査を実施するもので、本年度は、昨年実施したM/P調査の結果に基づき具体的な地上伝送路網の設計、プロジェクト経費の算出、収入見積および経済評価を行い、実施計画を策定し、最終報告書を作成した。	郵電総局
スラバヤ都市 圏都市計画 開 1 4	インドネシア第2の規模をもつスラバヤ都市圏の開発および整備にかかる基本計画を策定し、その各セクターについて短期計画を提案するもので、本年度は最終報告書を送付した。	公共事業省
ジャカルタ市 水道整備計画 開 3	ジャカルタ市水道整備計画につきマスタープランの策定とフィジビリティ調査を実施するもので、本年度は、9月にコンタクト・ミッションを派遣し、要請の背景、計画概要の確認と対象地域の現地踏査、資料収集等を行った。また昭和58年2月に事前調査団を派遣しS/Wの協議・締結を行った。	公共事業省 都市住宅総局
パダン治水計 画 開 3 4	西スマトラ州パダン地域の治水全体計画を策定後、緊急度の高い地域についてF/Sを実施するものである。本年度は事前調査団派遣によりS/Wを締結し、その後本格調査団による第一次現地調査を実施した。	公共事業省
ジャカルタ大 都市圏鉄道輸 送計画 開 1 4	ジャカルタ市内および近郊における旅客・貨物輸送鉄道網の総合的な近代化計画について2,000年を目標としたマスタープランを作成し、優先順位の高いものについてF/S調査を実施した。	運輸省陸運 総局

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
バリ国際空港 整備拡充計画 開 4	インドネシア国バリ島デンパサールにあるバリ国際空港の整備拡充計画につき F/S 調査を実施するもので、本年度は本格調査を実施しファイナル・レポートを作成した。	運輸省航空 総局
東部インドネ シア電気通信 網整備計画 開 1 4	インドネシア共和国東部地域に対するマイクロウェーブ、海底同軸ケーブル、国内衛星通信システム等の伝送システム建設計画を実施するもので本年度は、昨年度実施した長期計画（マスタープラン）策定のための現地調査をもとに、ファイナル・レポートを作成した。また緊急度の高い地域について F/S 調査を実施した。	郵電総局
ジャカルタ住 宅市街地再開 発計画 開 4	ジャカルタ市の住宅地の開発および住環境の整備を目的とする都市スラムの再開発計画にかかる F/S 調査を実施するもので、本年度は現地本格調査を実施し、①データの収集および分析、②現状の問題点の把握③再開発システムに関する基本的な考え方の提案等を行いインテリム・レポート迄を作成し相手国政府に対して説明・協議を行った。	公共事業省 住宅都市総 局
ネガラ河流域 地形図作成事 業(事前調査) 開 3	南カリマンタン・ネガラ河流域の地形図（縮尺5万分の1）の作成につき調査を行うもので、本年度においては、事前調査団を派遣し、対象地域の現地踏査、必要資料の収集およびS/Wを締結した。	公共事業省 水資源開発 総局
ラジオ・テレ ビ放送総合開 発計画 開 3	インドネシア共和国のラジオ放送およびテレビ放送に係る総合開発計画調査を行うもので、本年度は、本格調査に先立ち、相手国関係機関と協議し計画内容を確認するため、事前調査団を派遣し、S/Wを締結するとともに、所要資料の収集を行った。	情報省 (ラジオ・ テレビ・フ ィルム総局)
ヌサテンガラ 電気通信網整 備計画 開 3	インドネシア共和国のヌサテンガラ地域の地上伝送路網整備に係るフィージビリティ調査を実施するもので、本年度は要請内容、背景等確認を行うため事前調査団を派遣し S/W を締結した。	郵電総局

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
スメル火山砂防・水資源保全計画 開 4	スメル火山南東部周辺地域を対象として全体防災計画、土石流災害対策計画及び水資源保全計画にかかる F/S の策定を行うもので、本年度においては、地形図1/1000の図化作業およびインドネシア国側作成のマスタープランをレビューし、現地調査の結果から、対象プロジェクト形成、優先順位の検討を行った。	公共事業省 水資源総局 河川局
北バンテン水資源開発基本計画調査 開 4	西部ジャワ州北バンテン地域を対象とした水資源開発にかかる基本計画調査を実施するもので、本年度においては、最終報告書を作成し相手国へ送付した。	水資源総局
国際通信長期開発計画 開 1	本年度はインドネシア共和国における国際通信長期開発計画（マスタープラン）策定のため現地調査を実施し、ドラフト・ファイナル・レポートを作成し、相手国政府に対して説明、協議を行った。	郵電総局
アサハン河下流域総合開発計画 開 3	本計画は、スマトラ島北部に位置する北スマトラ州アサハン河下流域（対象面積約60万ha）における農業を主体とした流域総合開発計画（既存の農地の灌漑排水施設の改良と新規開田の促進）であり、これにより雇用機会の創出、入植事業の促進、新規開田による食糧増産を達成しようとするものである。昭和57年度は事前調査を行い、調査基本方針をとりまとめた。	公共事業省 水資源総局
米穀収穫後処理改善計画 開 4	インドネシア国は米増産計画の一環として10～26%と推定される米穀の収穫後の工程で発生する損失を低減する計画につき調査をわが国に要請してきた。昭和56年度は本調査にかかる S/W を締結し、これに基づき乾期作調査と雨期作調査の現地作業を行い、昭和57年度において最終報告書のとりまとめを行った。	農業省食用 作物総局
ピラ灌漑開発計画 開 4	本計画は、南スラウェシ州中部水資源総合開発計画マスタープランの中で早期実施を勧告されたものであり、農業生産、特に米の増産と地域農民の生活向上を目指し、ピラ地区9,800haにピラ川およびカローラ州の水源を利用して、灌漑農業を実現させるものである。昭和56年2月事前調査、同年6月から12月まで現地調査を行い、昭和57年度は最終報告書のとりまとめを行った	公共事業省 水資源総局

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
サンレゴ灌漑 開発計画 開 4	同国は、「南スラウェシ州中部水資源総合開発マスタープラン」(昭和54年 JICA 作成) で提案されているサンレゴ地区約10,000haの灌漑開発計画について、昭和56年6月の年次協議においてわが国へ要請した。これを受けて昭和57年3月事前調査を実施し、S/Wを締結した。ついで、本年度は、地形図作成と実施調査（現地調査）および国内作業を行い、最終報告書を取りまとめた。	公共事業省 水資源総局
稲病虫害発生 予察防除計画 開 4	米増産計画の一環として本計画の要請があり、これを受けて昭和56年4月に事前調査を、昭和57年2月にS/Wに署名した。本計画の目的は、作物保護センター、発生予察実験所、観察ユニット等の将来構想の策定およびそれらの建物、機械等拡充計画にかかる計画対象八州における全体計画を作成することであり、S/Wに続き、56年度末に実施調査（現地調査）を実施した。昭和57年度において最終報告書のとりまとめを行った。	農業省食用 作物総局
K・C・C地区 灌漑開発計画 開 4	ジャカルタから西方約100kmに位置するコボ、チカンデおよびチャレナン地区内の約9000haを対象とした灌漑開発計画のフィジビリティ調査の要請がインドネシア政府から出された。その要請に応え、昭和56年12月に事前調査団を派遣し要請内容を確認した。さらにその調査結果に基づき、昭和57年2月にS/W調査団を派遣し、F/Sの実施内容を決定した。本年度は実施調査（現地調査、国内解析）および最終報告書案の作成を行った。	公共事業省 水資源総局
稲種子生産配 布計画 開 4	米増産計画の一環として本計画の要請があり、これを受けて昭和56年10月に事前調査を、同年12月にS/Wに署名した。本計画の目的は、優良種子の生産とその配布をとおり生産の安定および増産を図るものである。このため、稲種子生産に係る施設の建設および資機材の整備等が本計画の主要な内容となっている。S/Wに続き、56年度末に実施調査（現地調査）を実施した。本年度は国内作業を実施し、最終報告書を取りまとめた。	農業省食用 作物総局
動物医薬品検 査所建設計画 開 6	動物医薬品の有効性、安全性の検査所建設に係る基本設計調査を実施した。	農 業 省
医薬品品質管 理試験所建設 計画 開 6	国家レベルの医薬品品質管理システムの向上を図る施設建設に係る基本設計調査を実施した。	国立品質管 理試験所

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
職業訓練指導員小規模工業普及員養成センター建設計画(ASEAN人造り計画) 開 6	人材養成に必要な同センターの建設に係る基本設計調査を実施した。	工業省
エネルギー需給計画策定システム開発技術協力 海 4	<p>同国が1983年度から予定している第4次5カ年計画の重要事項であるエネルギー部門の計画策定の一環として「エネルギー需給計画システム」を作成するものである。</p> <p>本年度は、収集したデータ解析を行って利用しやすい最適モデルシステムを策定し、あわせて最終報告書を作成、インドネシア国側に送付した。</p>	鉱山エネルギー省、石油天然ガス公社
アサハン水力発電開発計画 海 4	<p>包蔵水力約100万KWとされているトバ湖およびアサハン川の段階的開発で、シグラグラ発電所、タンガ発電所に引続きNo.1およびNo.3の2地点で180MW、300MWの水力発電開発を行う計画である。</p> <p>本年度は、昭和55年、56年度に実施した現地調査結果に基づき国内解析を行い、フィージビリティ調査報告書を作成し先方に提出した。</p>	電力公社
貿易商業統計システム開発計画調査 海 4	<p>本件の目的は、インドネシア国の商工政策を推進していく上で重要な意義を持つ国内・国際商取引に関する情報を収集、整理および蓄積し、これらを効率的に利用し得る貿易、商業統計システムを開発しようとするものである。</p> <p>本年度は、昨年度実施した現地調査結果をとりまとめドラフトレポートの説明および最終報告書の作成を行った。</p>	商業組合省 中央統計局
北スマトラ地区資源開発調査 資 8	<p>本件調査は、インドネシア国において実施したスラウェシ地域、カリマンタン地域の調査実績が高く評価され、それらに引き続き北スマトラ地域において地質調査、地化学探査、物理探査およびボーリングの手法により地質構造を解明しようとするものである。</p> <p>本年度は、当該地域において769km²の地質調査を実施した。</p>	鉱物資源局
リアムキワ水力発電開発計画 海 4	<p>カリマンタン島バンジャルマシ地域の水力需要に対応する新規電源開発で、同島南東部マルタプエラ支流に流域面積1,600km²にわたる最大出力42MWの水力発電を開発する計画である。</p> <p>本年度は、昭和56年度実施した現地調査に基づき国内解析を実施し、最終報告書としてとりまとめ先方に提出した。</p>	電力公社

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の受 査団受入先
砂糖副産物利用工業開発計画(事前調査) 海 3	<p>インドネシアにおける既存および新設される砂糖工場より副産物として生産されるモラセス（糖蜜）を原料とする発酵製品製造プラント建設に係る F/S である。</p> <p>本年度は、F/S調査を実施するに当って、①要請の背景・内容等の具体的把握、②関連サイトの実情把握、③比国活性炭関連産業の実情視察、④関連情報の収集、⑤本格調査実施のための S/W協議を行い、S/Wに署名した。</p>	農 業 省
砂糖副産物利用工業開発計画 海 4	<p>今回は、事前調査で締結された S/Wに基づき現地調査を実施、国内解析作業を行った。</p>	農 業 省
バンコ炭利用計画（予備調査） 海 3	<p>本計画は、インドネシア国南スマトラ州バンコ地域に多量に賦存する褐炭を同地域における工業化および雇用の増大に役立たせるため、ガス化により、メタノールの合成・肥料工場の原料ガスとして有効利用するための計画である。</p> <p>本年度は、要請内容の具体的把握およびインドネシア政府の本件プロジェクトに対する意志の最終確認を中心とし、あわせてバンコ地域でのサイト踏査および必要データ等の確認を主目的とする予備調査団を派遣した。</p>	技術開発利用庁 (Agency for Development & Application of Technology)
ルスン水力発電開発計画（事前調査） 海 3	<p>北スマトラのトバ湖南西部を流れインド洋に注ぐルスン川の流域を変更しトバ湖に導くことにより水力発電開発を行う計画である。</p> <p>本年度は F/S 調査に先立ち現地踏査および S/Wの協議・署名を行った。</p>	電力公社
コタバングジャン水力発電開発計画調査 海 4	<p>スマトラ島中部カンバル川コタバングジャン地区の水力発電開発に関し、その技術的・経済的可能性の評価・検討を行うものである。</p> <p>本年度は、中間報告書を取りまとめインドネシア国側に提出した。</p>	電力公社
ルンプル地熱開発計画 海 4	<p>石油の代替として地熱開発によるエネルギー供給源の多様化を推進する地熱開発技術協力調査で、スマトラ島中部クリンチ地区ルンプルを対象としている。</p> <p>本年度は、①昭和55、'56年度実施した調査の結果選定された地点において調査井の掘削、②孔内検層、③コア地質調査、④圧水試験、⑤噴出試験の調査を行った。</p>	鉱山エネルギー省火山調査所

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
ラオス		
ヴィエンチャン 上水道拡充 計画 開 6	市内北東部および、南部のインフラ整備の一環として、給水施設整備および建設に係る基本設計調査を実施した。	建設省
ヴィエンチャン 排水施設建設 設計画 開 6	市内の排水溝の整備、施設の改善に係る事前調査を実施した。	建設省
マレーシア		
東マレーシア FM放送網整備 計画 開 4	マレーシア国東マレーシア(サバおよびサラワク州)のVHF/FM放送網の整備・拡充に係るフィジビリティ調査を行うもので、本年度は、事前調査で合意したS/Wに基づき現地調査を実施し、ドラフト・ファイナル・レポートを作成し、現地説明を行った。	情報省
鉄道整備計画 開 1	マレーシア国の鉄道整備にかかる新線建設計画および複線化、電化計画等の改良計画を含む全体的なマスタープランの作成を行うもので、本年度は、4月に事前調査団を派遣し、マスタープラン実施のためのS/Wを締結した。また現地本格調査を実施しインテリムレポートを作成した。	経済企画庁
地域水資源開発計画 開 3 4	ペルリス、ケダ、ペナン3州の地域水資源開発計画を策定しあわせてフィジビリティ調査を実施するもので、本年度は、9月に本格調査の内容を検討するため事前調査団が派遣されS/Wを取決め、また各州地域水資源計画の策定およびF/S(来年度)に必要な予備調査を実施するとともにダム予定地点6カ所(70km ²)を対象とする地形図を作成した。	経済企画庁
ジョホールバル 道路交通計画 開 3 4	ジョホールバルにおける都市内幹線道路の建設および改良計画に関するF/S調査を行うもので、本年度は、6月に事前調査を行いS/Wを締結した。また8月から本格調査を実施し、1)データ収集、分析、2)交通調査、解析、予測等を行い、インテリムレポートを作成した。	経済企画庁

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
クラン地域下水排水計画 開 1 4	クラン地域における下水排水について2000年を目標年次とするマスタープランの策定および整備優先地域における1990年を目標年次とするフィージビリティ調査の実施するもので、本年度は、マスタープラン、F/Sドラフト・ファイナル・レポートについてマレーシア国側と協議を行い、ファイナル・レポートを作成した。	保健省 計画省
タタウ〜カピト幹線道路建設計画 開 4	マレーシア国サラワク州タタウ〜カピト間約180kmの道路建設計画にかかわる技術的、社会・経済的検討を行うF/Sを実施するもので、本年度はタタウ〜カピト間の第2幹線道路建設計画に係るF/S調査のうち、フェイズI作業として航空写真測量を含む現地調査およびその解析結果に基づき路線の代替案について概略説明を行った。	経済企画庁
錫鉱埋立地住宅開発計画 開 3	クアラルンプール市の錫鉱埋立地の住宅開発のために跡地の住宅開発可能性区分調査および優先地区における住宅開発計画の策定を行うもので、本年度は事前調査団を派遣し、調査内容の検討およびS/Wの協議を行った。	経済企画庁
ペルリス港開発計画 開 3	マレーシア国政府の要請にもとづき同国ペルリス州ペルリス港の開発計画を策定し、そのフィージビリティ調査を実施するもので、本年度は、事前調査を実施し、要請の背景、内容の確認、マレーシア国側関係者との協議およびS/Wを締結した。	経済企画庁
ジョージタウン・パタワース道路計画 開 4	ペナン都市圏における1985年および2000年の交通システムの基本計画を策定することであり、このうち緊急改善計画についてはF/Sを実施するもので、本年度は、最終報告書を送付した。	経済企画庁
マレーシア全国水資源開発計画 開 1	マレー半島およびサバ・サラワク両州を含むマレーシア国全土における州別最適水需給計画と法制・制度・組織等の整備計画をあわせた水資源総合開発調査で、本年度は最終報告書を送付した。	経済企画庁

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
サバ州ベンコ カ地区造林再 入植計画 開 3	<p>サバ州政府はベンコカ地区のうち約 36,000 ha の造林および再入植を計画している。</p> <p>本調査はこの計画の実行可能性を検討するもので、昭和57年度はマレーシア政府、サバ州政府の本計画への取組み方の確認、世銀による資金協力の概要の調査、計画地区の現況把握のためのコンタクト調査団を派遣した。</p>	サバ州森林 開発局
マラヤ大学日 本語校舎建設 計画 開 6	マラヤ大学に日本語教育を行う施設建設に係る基本設計調査を実施した。	教 育 省
テカイ水力発 電計画 海 4	<p>パハン水系テンプリン川の支流テカイ川の上・下流を一環開発（各々の最大出力は104MW, 12MW）することによりマレーシア半島の電力需要増に対応する計画である。</p> <p>本年度は、測量、地質調査、ボーリング等を実施し、その結果をとりまとめ中間報告書をマレーシア国側に提出した。</p>	経済企画庁 (EPU) 電力公社 (NEB)
職業訓練指導 員・上級技能 訓練センター 建設計画 (ASEAN人造 造り計画) 開 6	技能労働力の開発を目指し、これに必要な職業訓練指導員の養成、現職職業訓練指導員、監督者および技能労働者に対する技能向上訓練等を実施する施設建設に係る基本設計調査を実施した。	労働人的資 源省
トレンガヌ南 部地域総合開 発計画 開 1	<p>マレーシア政府は、従来よりトレンガヌ州南部（内陸部）における農業開発を進めてきたが、同州の沖合 200 km の海底から石油・天然ガスが発見され、沿岸部において工業開発を計画、実施するのに伴い、南部地域の調和ある開発を行う必要から同地域の開発マスター・プランの作成につきわが国に要請をした。本件要請に対し、57年2月コンタクトミッションを派遣し、さらに同年4月事前調査を実施し、調査実施要綱（S/W）を締結した。その後本格調査に向けて準備を進めた。</p>	経済企画庁 (EPU)
サラワク地区 資源開発調査 資 8	<p>本件調査地域であるサラワク州 Bau 地域は、マレーシアにおける第4次鉱物資源探査計画の一つであり、わが国の協力のもとに地質調査地化学探査、物理探査およびボーリングの手法により地質構造を解明しようとするものである。</p> <p>本年度は、Bau地区において、540km²の地質調査を実施した。</p>	地質調査局

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
ネパール		
地方電気通信網整備計画 開 3 4	ネパール国における地方電気通信網の整備・拡充に係るフィージビリティ調査を行うもので、本年度は事前調査を行いS/Wを締結し、引続いて現地本格調査を開始した。	ネパール電気通信公社
コシ河流域水資源開発調査 開 3	ネパール国東部地域のコシ河流域の水資源開発基本計画の策定を実施するもので、本年度は事前調査団を派遣し、調査内容の検討およびS/Wの協議を行った。	水資源省
コンテナ輸送導入計画 開 1 4	カラチ港、カシム港の両港にコンテナ・ターミナルのマスタープランを策定し、そのうち緊急整備計画についてF/S調査を行うもので、本年度は最終報告書を送付した。	運輸省
カトマンズ地区送配電網整備計画 開 6	第1期に引続き、既設送配電網の現状および今回分の整備に係る基本設計調査を実施した。	水利電力省
サプトガンダキ水力発電開発計画 海 4	本計画は、ネパール中部を流れるサプトガンダキ河に高さ約70mのダムを築造することにより出力200MWの発電を得ようとするものであり、その技術的・経済的フィージビリティを評価するための本格的調査協力を行っている。 本年度は、現地調査を含め中間報告書、最終報告書の作成およびネパール国側に対する説明を行い、最終報告書を送付した。	水資源省電気局（ED）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
パキスタン		
国鉄機関車供給計画(Ⅱ) 開 3 4	パキスタン国鉄の国産化計画に基づいて、機関車製造工場に係るF/Sおよび工場の予備設計を実施するもので、本年度は事前調査団を派遣し、現地調査ならびにパキスタン国側とS/Wを締結し、直ちに本格調査を開始した。	鉄道省
全国総合交通計画 開 1	パキスタン国政府の要請にもとづき、同国の全国総合交通計画策定のためのマスタープランの作成を行うもので、本年度においては、現地調査の終了に引続き、国内作業において需要予測および開発戦略策定に基づく代替案の作成および優先プロジェクトの概略投資計画を作成し、ドラフト・ファイナル・レポートの説明・協議を行った。	財務・経済企画庁
イスラマバード病院建設計画 開 6	イスラマバード市の医療体制強化に必要な小児病院をイスラマバードホスピタルコンプレックスに建設する計画に係る基本設計調査を実施した。	保健省
パットフィーダー水路拡張計画 開 4	同国において開発の遅れているバルチスタン州のインダス川を水源とするカチ平原において計画されていたパットフィーダー水路拡張計画の要請(昭和56年7月)を受けて、昭和56年11月に事前調査を実施し、昭和57年1月にS/Wを締結した。これに基づき、灌漑面積約25万haの地域においてパットフィーダー水路拡張をとまなう農業開発計画の現地調査を行った。昭和57年度にはそのF/S調査を実施し、最終報告書のとりまとめを行った。	経済省
フィリピン		
パナイ河流域洪水防御基本計画 開 1 3	パナイ島に位置するパナイ河流域の洪水対策を中心とする開発基本計画を策定するもので、本年度は10月に事前調査団を派遣し、現地踏査と調査内容の検討およびI/Aの協議を行い、引続き本格調査により計画策定の基礎資料である地形図作成のための航空写真撮影と標準点測量および河川測量指導を実施した。	公共事業・道路省
道路防災計画 開 3	フィリピンの主要国道の災害危険箇所を判定し、優先度の高いものにつき復旧方法、防止対策等のF/Sを行うもので、本年度は事前調査団を派遣し、要請の背景・内容を聴取しS/Wを締結した。	公共事業・道路省

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
インファンタ ・リアル都市 開発計画 開 3	インファンタ・リアル地域の都市開発計画のマスタープランを作成するもので、本年度は58年3月に事前調査団を派遣し、フィリピン国政府の要請の背景・内容を聴取するとともに現地踏査を行い、今後実施予定の本格調査のS/Wを協議・締結した。	居住環境省
マニラ首都圏 都市交通計画 開 1 3	既存のマスタープランが古くなり基礎データである人口や交通パターンが変わってきたため、その見直しを行い新たに総合的な都市交通計画を作成するもので、本年度は7月に事前調査団を派遣しS/Wを締結した。引続いて、同国マニラ首都圏の都市交通計画策定のための本格調査を開始し、インテリム・レポート作成まで実施した。	運輸通信省
サンフェルナ ンド港整備計 画 開 3 4	フィリピン国政府の要請にもとづき、同国のサンフェルナンド港開発の長期計画を策定するとともに、短期計画に関しフィージビリティ調査を実施するもので本年度は10月に事前調査団を派遣し、相手国関係当局と協議の結果協力の枠組等につきI/Aを取極め、これに基づき本格調査を開始した。	フィリピン 港湾庁
気象通信網整 備計画 開 3	ルソン島、セブ島、ミンダナオ島の気象通信網整備計画について、必要なフィージビリティ調査を実施するもので、本年度は11月に事前調査団を派遣し、関係政府機関に対し要請の内容を確認しS/Wを締結するとともに、情報・資料を収集した。	フィリピン 気象庁
マニラ首都圏 北部地区幹線 道路網計画 開 4	マニラ首都圏の交通混雑を解消するため北部環状道路5号線の道路網計画についてのF/Sを実施するもので、本年度は5月に現地本格調査を開始し、1)データ収集、解析、2)交通需要予測、3)地質調査、4)ルート選定、道路計画、5)経済評価等の調査を実施し、ドラフト・ファイナル・レポートを作成した。	公共事業・ 道路省
マヨン火山砂 防計画 開 9	1981年6月発生したマヨン火山山麓の土砂流出災害に対し策定済み同火山砂防計画M/P見直し等のアフターケア調査を行うもので、本年度においては昨年に引続き、アフターケア調査として航空写真撮影を実施した。 また、6月より現地本格調査を開始し、調査対象地域内砂防施設区域の図化作業、各種データの収集分析および計画立案の評価と初年度計画のうち最優先砂防計画の詳細設計を実施した。	公共事業・ 道路省

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
南部ルソン電気通信網整備計画 開 4	比国南部ルソン地方の電気通信網のF/S調査を実施するもので、本年度は、58年2月に事前調査団を派遣したのに引き続き、現地本格調査を開始し、現地調査において得られた情報・資料を基に解析作業を行い、ドラフト・ファイナル・レポートを作成し、その説明を現地において実施した。	電気通信局
アイリーン港整備計画 開 1 4	ルソン島北端のアイリーン港のマスタープランの策定および短期整備計画に係るF/S調査を実施するもので、本年度は最終報告書を送付した。	フィリピン 港湾庁
ダルトン・パストンネル計画 開 4	国道5号、ダルトン・パスを中心とした地域のトンネル計画を含めた改良計画および、法面防災対策に係るF/S調査を行うもので、本年度は、最終報告書を送付した。	公共事業・ 道路省
カガヤンバレー地区地図作成事業（第5年次） 開 2	カガヤンバレー地区の地形図（縮尺2.5万分の1、72図葉）を作成した。	国防省沿岸 測地測量局
海洋資源探査船建造計画 開 6	大陸棚の鉱物資源探査・地質調査に必要な海洋資源探査船および塔載機器の供与に係る基本設計調査を実施した。	鉱業局
マニラ首都圏南部地区幹線道路網計画 開 4	マニラ首都圏の郊外南部の幹線道路網の建設と整備にかかるフィージビリティ・スタディを行うもので、本年度は、最終報告書を送付した。	公共事業・ 道路省

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
地方都市上水道計画 開 1 4	フィリピン国イロコスノルテ州ラオアグ市など3地方都市の上水道整備計画につきマスタープランおよびフィジビリティ調査を実施するもので、本年度はドラフト・ファイナル・レポート協議を行うとともに協議結果に基づき最終報告書を作成送付した。	地方水道公社
灌漑システム維持管理強化計画 開 3 4	フィリピン国の既存の灌漑施設21カ所（約16万ha）を対象にJICAおよびNIAがF/Sを実施するものである。調査内容は灌漑施設の復旧・改良計画と排水対策の策定が主要なものである。同国側からの要請に応じて、昭和57年2月から3月にかけて事前調査を実施し、今後2カ年間で実施調査を完了させることで相手側と合意した。昭和57年度においては、第一次実施調査（現地調査）と第一次中間報告書の作成およびNIAが実施するF/S調査の技術指導を行った。	国家灌漑庁（NIA）
アスエ農業総合開発計画 開 3	マニラ市の南方約450kmパナイ島北東部に位置するアスエ川流域の約6,700haを対象に灌漑施設を主体として農道等インフラストラクチャーの整備を含むアスエ川流域総合開発計画を立案するものである。昭和57年度では事前調査とS/W協議を実施した。	国家灌漑庁（NIA）
ワニ養殖事業 開 3	フィリピン国にワニ養殖センターを設置し、ワニの養殖試験を行うとともにフィリピン国のワニ養殖技術者の育成訓練及び技術指導を行う計画をもとにフィリピン国政府からF/S調査の要請がなされた。 本件は無償協力およびプロジェクト方式技術協力による対応が適当と判断されるので、コンタクト調査団を派遣して先方政府と協議したところこの方針が了解された。	天然資源省
グマイン川灌漑開発計画 開 3	中部ルソン地域のグマイン川流域において新たに灌漑排水施設を建設するとともに、既存の灌漑排水施設を補修することにより、灌漑地域の拡大（対象地区約16,000ha）および灌漑効率を向上させ、米ならびにその他作物の増大を図る灌漑開発計画を策定するものであり、昭和57年度は事前調査を行いF/S調査実施に関する基本方針をとりまとめた。	国家灌漑庁（NIA）
マツノ川開発計画 開 4	北部ルソン、ヌエバ・ビスカヤ州マツノ川流域に展開する約2万haにつき、灌漑開発計画の策定を主目的とし、あわせて地域の総合開発の一環として洪水調節・発電開発計画を行うものである。昭和55年3月に事前調査団を派遣し、昭和56年10月のS/W協議を受けて、3カ年にわたる調査のうち第一次実施調査を昭和56年度末に行った。本年度は第二次および第三次実施調査を行い、開発計画の基本構想を中間報告書にとりまとめた。	国家灌漑庁（NIA）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
アルコガス計画 開 4	同国政府は、石油価格の高騰を背景に、代替エネルギーの開発を進めているが、その一環として発酵アルコール利用計画を国家アルコガス計画として推進している。わが国に対しては、甘藷等のプランテーションからアルコール精製所の建設に至るまでのモデルプラント計画についてF/S実施の要請をした。昭和56年度に実施1次および2次調査を行い報告書案を作成し、本年度は最終報告書を取りまとめた。	国家アルコール委員会
パターン難民センター建設計画 開 6	国連の要請を受けてフィリピン政府が設立管理している難民保護・訓練センターの医療・訓練施設の拡充に係る基本設計調査を実施した。	環境居住省
ノーマルカレッジ付属図書館建設計画 開 6	大学各学部に分散する図書館を一つに統合するため図書館建設に係る基本設計調査を実施した。	教育省
地方環境衛生パイロット計画 開 6	上水道・共同トイレ・環境衛生教育センターを地方村落にモデルケースとして建設し、公衆衛生を普及させる計画に係る事前調査を実施した。	保健省
ボホール農業振興コンプレックス計画 開 6	ボホール州総合地域開発計画の一環である農業振興コンプレックス計画の施設建設に係る基本設計調査を実施した。	地域開発庁
高等化学研究所建設計画 開 6	マニラ市アテネオ大学に設置予定の高等化学研究所建設に係る基本設計調査を実施した。	貿易工業省

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予 算 区 分 調査内容分類	事 業 概 要	相手国の調 査団受入先
農村工業関連 農村開発セン ター建設計画 (ASEAN人造 り計画) 開 6	農村開発、国民の生活水準向上を目的とする各種技術者の養成等に 必要な施設の建設に係る基本設計調査を実施した。	環境居住者
アルコガス (アルコール工 場建設) 計画 海 4	ルソン島Dasmaringas, Caviteにおいてアルコガス生産に係わる原料 栽培農園の開発、日産約60,000ℓ 規模の製造工場に関する技術的・経 済的企業化の可能性を検討するものである。 本年度は、最終報告書の印刷・製本を行いフィリピン国側に送付し た。	国家アルコ ール委員会
マニラ市電力 安定供給計画 (事前調査) 海 3	マニラ地区で多発する停電の主な原因となっている火力発電所の運 転、維持、管理について調査を行い、必要な勧告およびリハビリテー ションプログラムを作成するものであり、本年度は、I/Aに署名を行 った。	フィリピン 電力公社 (NPC)
マツノ川開発 計画（水力発 電） 海 4	本計画は、ルソン島中央部ヌエバビスカヤ州を貫流するカガヤン川 の支流であるマツノ川に大規模貯水池を築造し火力発電を行うことに よって新規の利水容量を確保し、下流の農業振興をもはかることを基 本として多目的に開発しようとするものである。 本年度は現地調査を行い、その結果を中間報告書としてまとめフィ リピン国側に説明を行った。	国家電力庁 国家灌漑庁
ミンドロ地区 資源開発調査 資 8	ミンドロ島全域 (10,000km ²) についてランドサット・データの解析、 写真、地質解析、地質調査、地化学探査、物理探査、ボーリング等の 手法を用い鉱物資源分布図を作成し、鉱物資源賦存有望地域の評価を 行うものである。 本年度は地質調査をミンドロ島全域において実施した。	鉱山地球科 学局
マニラ市火力 発電所リハビ リテーション 計画 海 4	本年度は事前調査に引き続き本格調査を開始し、報告書を取りまと めリハビリテーションプログラムを提示した。また、発電所職員のト レーニングのための教科書を作成した。	フィリピン 電力公社 (NPC)

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
レイテ・ミン ダナオ送電線 開発計画(事 前調査) 海 3	レイテ島で生ずる余剰電力をミンダナオ島へ送電するために、両島を送電線で連係しようとする計画の技術的・経済的妥当性を検討するものである。 本年度は、I/Aに署名した。	フィリピン 電力公社 (NPC)
レイテ・ミン ダナオ送電線 開発計画 海 4	本年度は本格調査を開始し、資料収集、ルート踏査およびNPCとの協議を行った。	フィリピン 電力公社 (NPC)
活性炭工業振 興開発計画 (事前調査) 海 3	フィリピン国立科学研究所(NIST)および工業技術院・北海道工業開発試験場との間で行れた南洋材を原料とした粉末活性炭の製造についての共同研究の結果、粉末活性炭製造技術についての基礎的な技術が確立されたが、本件調査はこれらの研究成果を踏まえ、南洋材を原料とした粉末活性炭製造プラント建設に係るF/S協力をを行うものである。 本年度は、本格調査実施のためのI/Aに関する協議等を行い、合意書を取り交した。	N I S T (The Na - tional Institute of Scien - ce and Technology)
低圧ガス開発 計画 海 4	パナイ島イロイロ堆積盆における共水性ガスの開発可能性を調査するものである。 本年度は、試掘調査計画作成に必要な諸データを得ることを目的とし、昭和56年度に実施した現地調査結果を報告書としてとりまとめフィリピン国側に提出した。	エネルギー 開発局
アクパン・イ トゴン地熱開 発計画 海 4	ルソン島中部アクパン・イトゴン地区において地熱貯留層、ポテンシャルの評価を行い、地熱発電の可能性の予備的検討を行うものである。 本年度は、①ランドサット画像、空中写真地質解析、②地質調査、③地熱徴候調査、④水理調査、⑤地化学探査、⑥重力探査、⑦電気探査の調査を行った。	エネルギー 開発局
ピスリグ石炭 開発計画(事 前調査) 海 3	ミンダナオ島ピスリグ地域に建設が計画されている石炭火力発電所へのピスリグ石炭供給の可能性についての調査であり、本年度はその計画の妥当性等についてフィリピン政府機関との協議を行い、また、ピスリグ地域石炭賦存状況検討のため現地踏査を行った。	エネルギー 開発局

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
シンガポール		
生産性向上計画(ASEAN 人造り計画) 開 6	生産性向上に関する研究、開発、訓練、教材製作に必要な機材供与に係る基本設計調査を実施した。	生産局
石炭火力発電および一貫製鉄所の立地に係る環境影響調査 海 4	石炭火力発電所および一貫製鉄所のサイト予定地である西海岸ジュロン沖セラヤ島および東海岸チャンギ沖テコン島の2地域周辺において環境汚染の現状を把握し、上記プラントが立地した場合の既存工業団地、居住地域、リクリエーション地域、チャンギ新国際空港等の二酸化硫黄(SO ₂)の環境濃度が大気環境に与える影響およびシンガポール島周辺海域の水質に与える影響を予測し、同政府が環境汚染対策を検討する上で必要な資料を提供することを目的とするものである。 本年度は二度にわたる現地調査で残りの観測(煙源データ収集、保守管理、機器撤収等)を行い、国内解析作業を実施し、ドラフトレポートを作成した。	ジュロン・タウン・コーポレーション (JTC)
スリ・ランカ		
地方上水道整備計画 開 4	アンパライ、ポルゴラ、ミスワンゴダ各地区について生活水準の向上を目的とした水道整備計画の策定を実施するもので、本年度はインテリムおよびドラフトレポートを作成し、スリ・ランカ政府と協議を行い、ファイナルレポートを送付した。	地方自治・住宅・建設省水道公社
大コロombo電気通信網整備計画 開 3 4	大コロombo地区の主要電話局間の中継線路および一部加入者線路の整備拡充にかかるフィジビリティ調査を実施するもので、本年度は12月に事前調査団を派遣しS/Wを締結した。引続いて現地本格調査を開始した。	電気通信局
コロombo周辺道路網整備計画 開 3 4	大コロombo圏におけるコロombo・カトナヤケ高速道路およびコロombo港アクセス道路建設計画に関するF/Sを実施するもので、本年度においては、9月に事前調査団を派遣し、S/Wを締結した。引続いて現地本格調査を開始し1)社会経済調査、2)交通実態調査等を実施しプログレス・レポートを作成した。	大コロombo経済委員会

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
末端灌漑パイ ロット計画 開 6	マハヴェリ川開発計画の一環である末端灌漑施設建設に係る基本設計調査を実施した。	マハヴェリ 局
漁港整備計画 開 6	南部キリングの漁港および関連施設建設に係る基本設計調査を実施した。	漁港公社

タイ

ラオス難民生 活用水供給計 画 開 6	タイ国東北部ラオス難民キャンプ、ナコンパノムおよびパクチョムキャンプの生活用水確保を目的とする地下水開発調査を行うもので、本年度は昭和56年度において実施したナコンパノムキャンプ地下水開発に引続き、パクチョムキャンプにおいてテストボーリング4本を含む地下水開発を実施し、両キャンプの調査結果をファイナルレポートとしてとりまとめた。	内務省
バンコク市都 市排水対策計 画 開 1 3	バンコク市郊外地域についての都市排水対策計画に対する予備調査を行い優先度の高い地域についてM/Pの策定とF/S調査を行うもので、本年度は事前調査団を派遣しS/Wの締結を行い、事前調査報告書を作成した。	バンコク首 都庁下排水 道局
バンコク市下 水道整備計画 開 4	バンコク市の下水道整備事業につき55年度において調査を実施したマスタープランの結果に基づきフィジビリティ調査を行った。	バンコク市 下水道

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
タイ国東部水 資源開発計画 開 4	タイ国東部沿岸地域の Nong Pla Lai および Bung Bun のダム建設を主体とする水資源開発計画についての F/S 調査を実施するもので、本年度は本格調査を実施し、資料収集・分析および一部計画立案を行いその結果をファイナルレポートとしてとりまとめた。	王室灌漑局
チャオピア河 架橋計画 開 4	チャオピア河を渡河する Rama 6 橋の拡幅ないし新橋建設の F/S および最適案の予備設計を行うもので、本年度は最終報告書を送付した。	内務省公共 事業局
東部臨海工業 地帯開発計画 開 3	タイ国東部臨海工業開発の一環としての工業港の適地選定、背後の土地利用計画等について検討するもので、本年度は事前調査団を派遣し、要請内容の確認と対象地域の現地踏査、資料収集を行った。	タイ運輸省
ラマ 6 世橋修 復計画 開 4	倒壊の危険性のあるラマ 6 世橋の修復に係る入札図書作成のため詳細設計およびコストの積算等を行うもので、本年度は、昭和56年度行った現地調査に基づき国内解析作業の実施、ドラフト・ファイナル・レポートの説明・協議を行い、ファイナル・レポートを作成送付した。	タイ国鉄
バンコック高 速道路建設計 画 開 4	バンコック首都圏における第2期高速道路建設計画に関する F/S を実施するもので、本年度は本格調査の中間段階（インテリムレポート）で、第2次高速道路ネットワークのマスタープランおよび優先プロジェクト（2路線）の提案を行った。	高速道路公 団
タイ国沿岸海 運整備振興計 画 開 3	タイ国政府の要請にもとづき、同国の沿岸海運整備振興計画に関するフィージビリティ調査を実施するもので、本年度は11月にコンタクトミッションを派遣し、要請内容を確認のうえ、昭和58年2月に事前調査団を派遣し、本格調査の枠組となる S/W を締結した。	タイ運輸省
船舶修理ヤ ード建設計画 開 3	2万 DWT 級船舶を収容し得る船舶修理ヤード建設のためのフィージビリティ調査を実施するものであり、本年度は事前調査団を派遣し、S/W を締結した。	投資委員会

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
バンコク首都圏国鉄高架化計画 開 3	バンコク首都圏における国鉄の輸送力増強ならびに近代化を検討しつつ、当面する道路混雑解消のため約10 kmの鉄道高架化計画についてのF/Sの実施するもので、本年度はコンタクトミッションを派遣し、本調査の背景、資料収集を行い、R/Dを協議し、署名した。	タイ国鉄
東部海岸パイプライン建設実施設計 開 7	タイ国東部海岸のドックライダムからマプタプットまでの工業及び都市用水用パイプライン建設について詳細設計と入札書類の作成を実施するもので、本年度は昭和56年度に引続き現地調査を行い、ドラフトD/D、入札書類および見積りの作成を実施し、タイ国側と協議を行い、最終報告書を取りまとめた。	王室灌漑局 (RID)
東部工業港開発計画 開 1 3 4	同国東部（マプタプット）に想定される工業港に関する長期計画（マスター・プラン）の策定ならびに短期計画に係るF/S調査を実施するもので、本年度は4月に事前調査団を派遣しS/Wを締結した。また7月から本格調査を開始した。	運輸省
東部水資源開発計画（フェーズII） 開 4	タプマおよびルアンの2つのダム建設による上下水、農業用水および河川防禦から成る水資源開発計画につき、F/S調査を行うもので、本年度は6月より現地本格調査を実施し、ファイナル・レポートを作成した。	王室灌漑局 (RID)
貧困撲滅計画システム開発計画 開 3	タイ国は貧困撲滅計画の一環として現行5カ年計画（1981～1985）の中で地方開発調整センターの管理および評価システムの整備を行うためコンピュータ機器の援助を要請してきた。このためタイ国側の基本構想およびニーズを確認し、今後のわが国の協力実施のあり方を検討するためコンタクトミッション派遣したものである。	国家経済開発庁 (National Economic and Social Development Board)
東北部道路網整備計画 開 4	タイ国東北部17万km ² における道路整備にかかるマスタープランを作成、合わせて整備優先度の高い路線についてプレF/Sを実施したものである。	運輸通信省 道路局 (Department of Highways)

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
南タイ北部地域総合開発計画 開 1	スラタニ、ブケットを結ぶ地帯を中心とする南タイ北部地域の総合開発計画につき、西暦2,000年を想定したM/Pの策定および優先プロジェクトのプレF/Sを行うもので、本年度は4月にコンタクト・ミッションを派遣し、さらに11月に事前調査を実施しS/W協議を行った。それに引続き、現地本格調査を開始した。	国家経済社会開発庁
交通安全施設改良計画 開 3	タイ国の国道、主要地方道における道路構造、施設にかかる改良計画のマスタープランを作成し、優先プロジェクトについてF/Sを実施するもので、本年度はコンタクトミッションを派遣し、要請内容を確認のうえ、事前調査団を派遣しS/Wを締結した。	運輸省鉄道局、バンコク市庁
タイ北部地方道路網整備計画 開 4	タイ北部地方17県における道路整備にかかるマスタープランの作成および整備優先度の高い道路についてF/S調査を実施するもので、本年度は最終報告書を送付した。	運輸省道路局
バンコク市都市廃棄物整備計画 開 1 4	バンコク市の都市廃棄物処理システムの長期及び短期計画を策定するものである。本年度は昭和56年度に引き続き、ドラフト・ファイナル・レポートの協議結果をもとに補正等を加えてファイナル・レポートを作成した。	バンコク市衛生局
東北タイ農業開発研究 開 11	日米両国が協力して行う共同プロジェクトとして東北タイの自然条件、社会、経済状況に適した農業技術開発を目的とする試験・研究センターを設置し、専門家を派遣してプロジェクト方式技術協力を実施することが計画されており、このプロジェクトフォーメーションを行うものである。昭和57年度にはコンタクト調査およびS/Wの締結ならびに実施調査（現地調査）を行い、最終報告書案を作成した。	農業・協同組合省
東北タイ農業協力調査 開 3	後発地域とされる東北タイの農業開発の方針を検討するため、昭和55年9月、昭和56年5月および10月に調査団を派遣し、関係機関と協議したが、その結果をふまえ、昭和57年4月に調査団を派遣し、日・タイ間の同地域農業協力の具体的あり方としては、①農業基盤整備、②生産拡大と多様化、③普及活動の三大方針による協力のフレーム・ワークをとりきめた。	農業・協同組合省

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
メチャン灌漑 農業開発計画 開 3 4	バンコックの北方650kmのムアンラムパン地方の農地約16,000haを対象にダムの新設および幹支線用水路施設の改良、整備を行い、水資源の有効利用を計ることにより地域農業の振興を計ることを目的とする灌漑農業開発計画の立案である。昭和57年度はS/Wの締結および実施調査（現地調査）を行った。	農業協同組合省王室灌漑局 (R I D)
東北タイ南部 中規模灌漑パッケージプロジェクト 開 3 4	東北タイメコン川に流入するムーン川の2つの流域にある約26,000haの地区の中規模灌漑プロジェクト群（13カ所）を対象に灌漑用水の供給を主とする農業開発計画を策定するとともにこの種の中規模灌漑プロジェクトの積極的な推進を図るためプロジェクトの選択および調査計画手法の指針を作成するものである。昭和57年度はS/Wの締結および実施調査（現地調査）を行った。	農業協同組合省王室灌漑局 (R I D)
バサック河上流中規模灌漑計画 開 4	同国中部地域を貫流するバサック河は流域面積約15,700km ² を有しているが、地形的に流量の変動が激しく洪水と水不足を繰り返している。昭和56年度はバサック河支流4カ所でのPre-F/Sを行い、昭和57年度は選定されたサイトにダムを築造し、ダム下流の灌漑用水の確保と用水施設の整備のための実施調査（現地調査）を行い、最終報告書を取りまとめた。	農業・協同組合省、王室灌漑局 (R I D)
社会教育文化センター建設計画 開 6	バンコック市に一般市民が利用できる社会教育文化センターを建設することに係る基本設計調査を実施した。	教 育 省
灌漑技術センター建設計画 開 6	灌漑技術の調査、研究、普及活動を組織的に実施するための施設建設に係る基本設計調査を実施した。	農 業 省
国境周辺住民生活環境整備計画 開 6	ラオス国境周辺住民に対する生活用水および灌漑用水供給のための施設建設に係る基本設計調査を実施した。	内 務 省

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予 算 区 分 調査内容分類	事 業 概 要	相手国の調 査団受入先
労災リハビリ センター建設 計画 開 6	労働者の福利厚生・労働環境改善・保護等を推進のため同センターの建設に係る基本設計調査を実施した。	内 務 省
貧困撲滅計画 開 6	貧困撲滅計画を実施するために必要なコンピューターの導入、システム設計に係る基本設計調査を実施した。	タマサート 大学
メクロン地区 末端灌漑計画 開 6	水管理の試験、トレーニングを行うためのモデル的末端灌漑施設の建設に係る基本設計調査を実施した。	王室灌漑局
プライマリー ヘルスケア訓 練センター建 設計画 (ASEAN人造 り計画) 開 6	農村住民への保護、サービス向上を目的とするプライマリーヘルスケア要員訓練のためのセンター建設に係る基本設計調査を実施した。	保 健 省
内水面漁業セ ンター建設計 画 開 6	南部タイ国において淡水魚業振興の中心となる研究、普及、稚魚生産および訓練を行う内水面漁業センターの建設に係る基本設計調査を実施した。	農 業 省
スコタイ・タ マチャート放 送大学番組制 作センター建 設計画 開 6	国民に広く高等教育の機会を与え、知識・技術の向上を図るための放送教育の充実を目的とする番組制作センターの建設に係る基本設計調査を実施した。	スコタイ・ タマチャート 大学

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
日米共同研究 プロジェクト 開 11	タイ国東北部コンケンに農業振興のための研究所および施設を建設し、日・米が共同してその実施に当るべくコンタクトミッションをタイ国に派遣し、タイ国および米国関係機関と協議した。	(タイ側) 農業省 (米国側) USAID
省エネルギー プロジェクト 開発計画(事前調査) 海 3	タイ国製造工業分野の6業種55工場(繊維、食品、紙、金属、プラスチック、化学および窯業・ガラス)におけるエネルギー使用実態および省エネルギーの現状を把握することを目的とした工場診断を実施し(フェーズⅠ)、その結果に基づき「エネルギー使用合理化判断基準(案)」を作成するとともに、「省エネルギー推進のための諸策」を提言する(フェーズⅡ)計画である。本年度は事前調査の結果をとりまとめ報告書を作成した。	エネルギー 庁工業省
省エネルギー プロジェクト 開発計画 海 4	本年度は第一次分(窯業・ガラス・紙)の現地調査の取りまとめ、ならびに第二次分(金属・繊維)の現地調査を行った。	エネルギー 庁工業省
MAE-SOT地 区産オイルシ ェール利用セ メント工場建 設計画(事前 調査) 海 3	本事前調査は、タイ国政府の要請に沿った調査協力の可否につき検討し、本格調査に係る基本的事項をタイ国政府側と協議し、合意事項をS/Wとしてとりまとめることを目的とするものである。本年度は①タイ国政府からの要請の背景、②S/W協議、③関連情報および資料の収集 ((イ)セメント産業および需給状況、(ロ)セメント工場関連の原材料の状況、オイルシェール採掘可能性、立地、水の供給可能性、(ハ)インフラ整備状況および地域電力需給状況、(ニ)メソット地区の政治、経済、文化概況)等について調査を実施した。	鉱山局
MAE-SOT地 区産オイルシ ェール利用セ メント工場建 設計画 海 4	本年度は現地調査においてセメント市場、電力需要、原料の適用性用役等に関する資料収集および分析を行い、国内解析作業においてプロジェクトの概念設計 ((イ)サイト選定、(ロ)原燃料の供給計画、(ハ)生産規模の決定) および財務分析、経済・社会的評価を行った。	鉱山局

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
バンコク市配 電網近代化マ スタープラン 計画 海 4	<p>①1982～2001年の20年間にバンコック市とその周辺の経済的可能なMEA配電系統の開発, ②MEA配電系統計画に用いられる電算機プログラムの開発, ③前記20年間のMEA配電設備の最適プログラムの作成, ④MEAの設計と建設技術基準の開発, ⑤同開発を推進するための技術者の合理的な養成計画の検討等を目的としたマスタープランの策定を実施する。</p> <p>本年度は, MEAの組織機能, 電気料金システム, 送電・変電・配電設備の現状を調査し, その結果を最終報告書にとりまとめ, タイ国側に説明を行うとともに送付した。</p>	首都圏電力 公社
ナムヤム水力 発電開発計画 海 4	<p>タイ国北部, サルウィン川支流のナムヤム川の水力発電開発に関して, 技術的および経済的な妥当性を検討する。</p> <p>本年度は, 発電所サイト, ダムサイトの地質調査を行うとともにボーリング工事の指導監督を行った</p>	エネルギー 庁(NEA)
サンカンベン 地熱開発計画 海 4	<p>タイ北部地域, チェンマイ市東部に位置するサンカンベン地域の地熱ポテンシャルを評価し, 地熱発電の可能性の予備的検討を行うものである。</p> <p>本年度は①地質調査及びその解析, ②重力探査及びその解析, ③磁気探査及びその解析, ④タイ側掘削のモデルテスト井に対する物理検層, ⑤深部電気探査, ⑥弾性波探査, ⑦地熱貯留層概念モデルの作成を目的とする調査を実施した。</p>	タイ発電公 社鉱物資源 局 チェンマイ 大学

インドネシア・マレーシア・シンガポール

マラッカ, シ ンガポール海 峡統一基準点 海図作成(フ ェーズII) 開 2	マラッカ, シンガポール海峡の三海区について, 世界測地系WGS-2に基づく20万分の1の海図を, 日本と沿岸三カ国とで共同作成するもので, 成果品が本年5月末の関係4カ国による最終会議により承認され, 刊行されることとなった。	インドネシア: Naval Hydro- Oceanographic Office マレーシア: Hydro-graphic Department Royal Malaysian Navy シンガポール: Hydro-graphic Department Port of Singapore Authority
---	--	--

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
---------------------------	------	------------

インドネシア・スリ・ランカ

海底ケーブル 建設計画 開 3	インドネシアおよびスリ・ランカ政府の要請に基づき、メダン〜コロンボ間海底ケーブル建設計画に係る事前調査を実施しS/Wを締結するとともに、本格調査に必要な資料の収集等を行った。	スリ・ランカ： 電気通信局 インドネシア： 郵電総局
--------------------------	---	-------------------------------------

フィリピン・タイ・マレーシア・シンガポール

ASEAN諸国 鉱工業プロジ ェクト選定確 認調査 海 3	ASEAN各国に対するわが国の技術協力のうち、鉱工業関係の開発調査を効率的に実行するため、当該国の要請プロジェクトと今後要請の可能性のある案件について、その背景と経済開発計画における位置づけ等を調査し、実施可能なプロジェクトの選定確認を行うものである。 本年度は、フィリピン、タイ、マレーシア、シンガポールを対象に①経済開発計画、鉱工業関係の開発計画の内容および関係プロジェクトの進捗状況、②鉱工業関係プロジェクトのうちわが国に技術協力を要請してきている案件、③わが国が協力しうる鉱工業関係開発調査の選定確認、④関連資料の収集について調査した。	ASEAN 各国経済企 画庁鉱工業 ・エネルギー 一担当省
--	---	---

フィリピン・ブルネイ

アジア諸国鉱 工業プロジ ェクト選定確 認調査 海 3	アジア諸国に対するわが国の技術協力のうち鉱工業関係の開発調査を効率的に実行するため当該国の要請プロジェクトおよび要請可能性のあるプロジェクトについて、その背景および経済開発調査における位置付け等を調査し実施可能なプロジェクトの選定確認を行うものである。 本年度は、フィリピン、ブルネイを対象に、フィリピンについては本年度の年次協議の場で調査候補案件として取り上げられた「ワニ養殖事業」計画に重点を置き、フィリピン側の要請の背景およびその内容の把握、今後の技術協力の可能性等の調査を行い、ブルネイについては1983年末に独立予定のブルネイ国に対する年次協議の一環としての調査を行った。	フィリピン ブルネイ各 国経済企画 庁鉱工業・ エネルギー 担当者
--	--	--

タイ・フィリピン

鉱工業プロジ ェクトフォロ ーアップ調査 海 9	鉱工業関係開発調査においてJICA発足(昭和49年8月)以降の案件でありかつ調査が終了したのものについて①調査報告書の活用状況を追跡調査し、②今後のJICAの調査能力の改善・向上に資すること等を目的とし、昭和56年度より調査を行っているもので、本年度は①国内アンケート(昭和55、56年度に終了した案件につき調査を担当したコンサルタントを対象とする相手国の調査報告書の活用状況報告書の評価等に関する情報のアンケート、同時に案件別の要約表の作成。)	タイ・フィ リピン各国 経済企画庁 鉱工業・エ ネルギー担 当省
--------------------------------------	---	---

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
	②在外機関への照会（昨年度実施した国内アンケート〈昭和49～54年度に終了した案件を対象〉の結果を海外事務所等により国内アンケートの結果の確認・補足。）、および③現地調査（タイ・フィリピンの政府関係機関等に対するわが方の海外開発調査協力全般に関する意見・要望および案件別の報告書活用状況の聴取。）の事項を調査した。	

アルジェリア

農業協力調査 開 3	アルジェリア国政府が農業分野における技術協力としてわが国に要請している(1)アンナバ県海岸平野部の4地域のF/S調査(2)トウモロコシ栽培の開発(3)小規模農場の機械化につき今後の協力の方策を策定するものである。本年度はコンタクト調査団を派遣し要請内容の確認および今後の協力の具体的方策の検討を行った。	農業・農地 革命省
フェツアラ湖 周辺地域農業 開発計画 開 3	アルジェから東方約450kmのアンナバ県の海岸平野部に位置するフェツアラ湖地域約24,000haにつき排水改良、農地整備を主とする農業開発計画を策定するものである。本年度はコンタクト調査団の派遣に続き事前調査団を派遣してS/Wの締結を行った。	農業・農地 革命省
海水淡水化計画(事前調査) 海 3	アルジェ市一帯の水需要予測に基づいて、蒸発法・逆浸透法の両プロセスの海水淡水化プラントおよび同付帯施設の概念設計を行い、本計画のフィージビリティを技術的、財務的、経済的観点から検討し、最適プロセスを選定することを目的とするものであり、本年度は①要請の背景内容等の具体的把握、②関連サイトの実情把握、③関連情報の収集、④本格調査に係るI/Aの協議に関する事前調査を行った。	水資源省
海水淡水化計画 海 4	本年度は事前調査で合意されたI/Aに基づき現地調査および国内解析の一部を実施した。	水資源省

エジプト

食肉冷蔵供給 開発計画 開 3 4	エジプト国は毎年食肉、魚等の動物性蛋白食料を大量に輸入しており、これら食料の冷蔵および供給システムの合理化が今後の国内需要に対応するために必要である。そこで同政府から昭和56年度案件として冷蔵倉庫等の建設を含むコールドチェーンの開発に関するフィジビリティ調査の要請があった。この要請に基づき、昭和57年3月に事前調査団を派遣した。本年度はS/Wの締結に続き実施調査(現地調査)を行い、中間報告書を取りまとめた。	供給省冷蔵 公社
-------------------------------	---	-------------

プロジェクト名 予 算 区 分 調査内容分類	事 業 概 要	相手国の調 査員受入先
エルファユーム灌漑開発計画 開 3	カイロ南西部約100kmに位置するエルファユーム州のクアルン湖畔とクアルン湖東部約13,500haにおいて開拓および灌漑排水事業を実施しようとするものであり、昭和56年度に本計画に関するF/S調査の要請がエジプト国政府からあった。この要請に基づき、本年度に事前調査を行った。	エルファユーム州政府
北部ホサイニアおよびポートサイド南部農業開発計画 開 3 4	ナイル河東部デルタおよびシナイ地区の開拓を目的とした「エルサラム水路計画」(約250,000ha)の一環としてカイロ北東部約150kmの北部ホサイニア地区およびポートサイド南部地区の約42,000haの開拓及び灌漑排水事業を実施しようとするものである。本年度はS/Wの締結並びに地形図作成及び本格調査(基礎調査)を行った。	灌漑省および農地開拓省
カイロ～アスワン・マイクロウェーブ通信網建設計画 開 4	カイロ～アスワン間の増大する通信需要への対処と伝送路2ルート化確立のためのマイクロウェーブ通信網建設計画のF/Sを実施した。	エジプト電気通信総局
スエズ運河航行安全計画 開 3	スエズ運河の航行安全計画を作成するもので、本年度は事前調査団を派遣し、要請の内容、背景の確認および現地踏査および関連資料の収集を行いS/Wを締結した。	スエズ運河庁
テンスオブラマダン地区農業開発計画 開 4	昭和56年12月に事前調査を実施し、この調査結果に基づき昭和57年2月からF/Sを開始した。プロジェクト地区はカイロから北東約110kmに位置するイスマイリア市の郊外にある約9,000haの砂漠地である。この計画は当地区に約900農家を入植させ、スプリンクラー等の灌漑方法により、果樹・野菜等を栽培すると共に、畜産を導入し、農業生産性の向上を図るもので、本年度は国内解析を行い、最終報告書を取りまとめた。	イスマイリア州政府
シアルキア上水道整備計画 開 3	シアルキア州における水道整備計画について技術・経済的F/S調査を実施し計画の最適案を策定するもので、本年度は事前調査団を派遣し、要請の確認、調査手法等の確認を行いS/Wを締結するとともに、資料の収集、現地調査を行い事前調査報告書を取りまとめた。	上下水道庁

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
精米技術訓練センター・農業機械貸出センター建設計画 開 6	食糖自給率の向上を図るために必要な同センターの建設に係る基本設計調査を実施した。	農業省
火力発電開発計画（事前調査） 海 3	エジプト・アラブ共和国の電力需要をまかなうべくシナイ半島に設備容量600MWの石炭をベースとした火力発電所の建設を1988年までに行うための最適開発計画を策定し、かつその技術的・経済的フィージビリティを評価するための本格的調査協力を行うことを前提にエジプト電力公社（EEA）とS/W協議を行った。	エジプト電力公社 （EEA）
火力発電開発計画 海 4	本年度は既存資料、情報の収集検討および発電所、港湾地点および送電線ルートの踏査を行った。	エジプト電力公社 （EEA）
エジプト・アラブ共和国鉱工業プロジェクト選定確認調査 海 3	エジプトに対する鉱工業関係開発調査を効率的に実施するため、当該国の要請プロジェクトと今後要請の可能性がある案件について、その背景と経済開発計画における位置づけ等を調査し、実施可能なプロジェクトを選定確認するもので、昭和57年2月に当該国へ調査団を派遣するとともに、調査結果の検討・報告書案の作成を行った。 本年度は、昨年度とりまとめた報告書案に基づき、報告書の印刷・製本および関係先への配布を行った。	エジプト技術協力担当省 鉱工業・エネルギー担当省
ジョルダン		
イルビット市環状道路建設計画 開 4	ジョルダン国北部総合開発計画の一環とされる、イルビット市環状道路建設計画に係るF/S調査を行うもので、本年度は、最終報告書を送付した。	国家企画庁
モロッコ		
ナドール新空港建設計画 開 3	モロッコ国北東部に位置するナドール市の新空港建設計画につき、フィージビリティ・スタディを実施するもので、本年度は同建設計画調査を実施するに先立ち、要請の内容を確認し、あわせて今後の調査方針等につき、相手国関係者と協議のため事前調査団を派遣し、S/Wを締結した。	運輸省航空局

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
漁業振興計画 開 6	漁業従事者養成等漁業振興に必要な機材施設等の供与に係る事前調査を実施した。	漁業省

オマーン

ワジジ農業 開発計画 開 4	本計画は、北部バチナ地方のソハール市南西のワジジ流域約3,800haを対象とし、特にワジジ上流にダムを建設し、計画地域内に新規開発農場（100ha）を造成することを主眼としている。このため、昭和55年度末に基礎調査、56年度に本格調査を実施し、本年度は実施調査結果の解析等国内作業を実施し、最終報告書を取りまとめた。	農漁業省
オマーン水文 観測計画 開 4	オマーン国北部バチナコースト地区に水文観測システムを設置し、同区の水文・水理地質・地下水涵養機構等に関する基礎資料の収集と解析を行うもので、本年度は、11月よりの本格調査で水文観測施設整備を開始し、ワジゲージ16基、雨量計23ヵ所の据付を実施した。	農漁業省
オマーン南部 地区資源開発 調査 資 8	本調査はサラサ地区およびスール地区の2地区、延5,500km ² を調査対象地区として、地質調査、写真地質解析の手法により地質構造を解明しようとするものである。 本年度は地質調査を95km ² およびボーリング調査を17孔延300mを実施した。	石油・鉱物 省

サウディ・アラビア

サウディ・アラ ビア国がんセ ンター設立計 画 開 7	ジェッダ市に設立する200床規模のがんセンター設立計画に関し、基本設計を実施するもので、本年度は現地本格調査および概念設計を実施した。	保健省
海水淡水化技 術協力計画 (研究開発)繰 越分 海 4	本計画は研究開発と訓練の2つの柱からなり、わが国の海水淡水化技術の移転を通じサウディ・アラビア国の将来における淡水の供給を確実なものとするを目的とし、海水淡水化技術研究所を設立し腐食防止、スケール防止、水質分析等の研究を行うものである。本年度は同研究所の概念設計書を作成し先方に提出した。	海水淡水化 公団

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
海水淡水化学 技術協力（研 究開発） 海 4	本年度は同研究所の研究機材の仕様書および年次報告書を作成した。	海水淡水化 公団
スーダン		
ソバ大学病院 医療機材整備 計画 開 6	カルツーム大学に付属する同大学病院の機能強化のための機材供与に係る基本設計調査を実施した。	教 育 省
カルツーム病 院建設計画 開 6	医療教育および医療サービス向上のため泌尿器・耳鼻咽喉および胃腸科の専門病院建設に係る基本設計調査を実施した。	保 健 省
トルコ		
アンカラ市大 気汚染対策調 査 開 3	アンカラ市大気汚染に関し、汚染物質発生源等の現況、現行の汚染対策とその効果を調査し今後の対策を検討するもので、本年度はコンタクトミッションを派遣し、要請の背景、内容を聴取し、汚染現況データ、組織、法的措置、対策等基本的項目につき調査を行うとともに、日本側の協力案を検討し、事前調査報告書(I)を作成した。	環 境 庁
ベシュコナッ ク水力発電開 発計画 海 4	地中海に注ぐキュプルチャク川ベシュコナック地区における20万KWの水力発電開発計画について、技術的および経済的妥当性を検討・評価するもので、本年度は相手側が実施した地質調査の資料収集と意見交換を行った。	トルコ水利 庁 (D S I)
ゾングルダッ ク炭田海域部 開発計画 海 4	ゾングルダック炭田の海域部を中心とする地域を対象に地質調査、物理探査、ボーリング等を実施し、同炭田の一部地区（ゴズル鉱区）の炭量確認と探鉱、探鉱計画の策定調査を実施するものである。本年度は昭和55年、56年度に実施した地質調査、物理探鉱、坑内試錐により得られた資料データの国内解析を行い現地ドラフト報告書説明ののち、最終報告書の作成を行った。	石 炭 公 社

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
イエメン		
ホデイダ港第 7バース建設 計画 開 4	イエメンアラブ共和国ホデイダ港における第7バース建設計画を主としたF/S調査を実施するもので、本年度はイエメン国側にドラフトファイナルレポートを提出し説明するとともに同国側のコメント等を試案のうえ、最終報告書を作成した。	公共事業省
アラブ首長国連邦		
水産増殖セン ター建設計画 開 7	同国は水産業を国内産業の中で最も重要な第1次産業として位置づけ、ウム・アル・クウェインの入江部に水産増養殖の実験と教育のため「水産増殖センター」の建設を計画し、わが国に協力を要請してきた。同国の要請に応じて、52年以来、4回にわたり事前調査等を行って来た。55年5月調査団を派遣してS/Wを締結し、更に7月、同センターの詳細設計図、見積書、入札書類等の作成を含む実施設計調査を実施した。56年度にはセンターの建設業者の選定と入札指導が実施された。57年度は施工管理業務を実施した。	農業省水産局
ボツワナ		
北東部地区資 源開発調査 資 8	本調査は、Kalahari Cratonの北東部地区において地質調査、地化学探査、物理探査およびボーリングの手法により地質構造を解明しようとするもので、本年度は、同地区において地質調査を0.5km ² 及びボーリング調査を10孔延1,200mを実施した。	地質調査所
ギニア		
地図作成事業 (第5年次) 開 2	ギニア全土にわたる測地網の整備と全土の写真図(縮尺5万分の1; 378面およびカンカン地区の地形図(縮尺5万分の1; 16面))を作成した。	ギニア測量局
ケニア		
リコニ橋・キ リフィ橋建設 計画 開 3	ケニア政府から要請のあったリコニ橋およびキリフィ橋建設計画調査を実施するに先立って、事前調査団を派遣して、要請案件の内容および緊急度の確認、S/Wの協議・締結および現地踏査を実施した。	運輸通信省

第2章 技術協力事業（開発調査）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
リコニクロッシング建設計画 開 4	リコニ・クロッシングの建設計画につき、技術的妥当性を検討するF/S調査を実施するもので、本年度は、昭和58年2月から現地本格調査を開始した。	運輸通信省
キリフィ橋建設計画 開 4	キリフィ橋の建設計画につき、技術的、経済的妥当性を検討するF/S調査を実施するもので、本年度は、現地本格調査を開始した。	運輸通信省
ケニア東部地区地形図作成（第7年次） 開 2	地形図を37図葉、縮尺5万分の1で作成し、その地形図をもとにし同地域の主題図（土地利用、地形分類、土壌等）作成のための調査および図化を行った。	ケニア測量局
ブライースト灌漑計画 開 3	ナイロビの東方約350kmタナ河中流域に位置するブラ地区を対象とし、タナ河西岸約5,500ha（ブラウエスト Phase II）の灌漑農業開発計画につき実施済のF/S調査報告書のレビューを行うとともにタナ河東岸約15,000ha（ブライースト）につきF/S調査を実施し、ブラ地区の農業総合開発計画を策定するものである。昭和57年度は事前調査を行った。	国家灌漑庁（NIB）
全国総合交通計画 開 1	ケニア国の各交通セクターごとの整備計画およびこれらの総合調整等も含めた全国総合交通計画のマスター・プランを作成するもので、事前調査を行い、58年1月より本格調査（現地調査）を開始した。	運輸通信省
ソンドゥ川火力発電開発計画（予備調査） 海 3	本計画はケニア共和国西部に位置するビクトリア湖に流れ込むソンドゥ川の下流にダムと発電所を建設し、ケニアの西部地域の民生用、中小工業用、灌漑のポンプ用等として電力を供給し、あわせて灌漑用としてダムの貯水を利用し、さらに洪水制御を行おうとする計画である。 本年度はF/S協力の実施方法、システムの説明、ケニア国側の協力体制の確認、関連資料の収集、質問書の手行等を主目的とする予備調査団を派遣した。	ヴィクトリア湖周辺開発庁（LBDA）

プロジェクト名 予算区分 調査内容分類	事業概要	相手国の調査団受入先
リフト渓谷地熱開発計画 海 4	<p>エネルギー省が計画しているリフト渓谷地熱開発で、過去に実施された調査資料に基づき次期開発区域である Eburru 地区の地熱ポテンシャルを調査するとともに、ケニア人技術者の教育訓練を行うものである。</p> <p>本年度は①56年度実施した電気探査、地化学探査のデータ解析、②54年度から実施の地質調査、地化学探査、物理探査結果の総合的コンパイル、③地表調査総合報告書ドラフトの現地説明、および④地表調査総合報告書の作成・送付を目的とする調査を行った。</p>	エネルギー省技術局
リベリア		
セントジョン川火力発電計画 海 4	<p>電力需要の95%を占めるモンロビア電力系統が供給不足となっていることに対応して、新規電源開発を行うためセント・ジョン川のNo.2地点とNo.3地点に各48MW、52MWの規模の水力発電開発を行うもの。</p> <p>本年度は国内解析を行い最終報告書をリベリア国側に提出した。</p>	土地・鉱山省
マリ		
地下水開発計画 開 1	<p>マリ国第7経済区での飲料水および遊牧地整備用の生活用水確保のため、同区の地下水開発調査を実施するもので、本年度は、過去4カ年に亘る現地調査の諸データのとりまとめおよび解析を行いファイナル・レポートを作成した。</p>	工業開発観光省水利エネルギー局
モーリシャス		
漁港整備計画 開 6	<p>ポートルイス港における冷凍冷蔵庫等陸上施設を含む漁港整備に係る基本設計調査を実施した。</p>	ポートルイス港湾局
モザンビーク		
漁業振興計画 開 6	<p>水産物の自給自足を図るため、これに必要な資機材の供与に係る基本設計調査を実施した。</p>	水産庁
ニジェール		
クラニバリア灌漑農業開発 開 3 4	<p>国家開発優先目標である食糧自給達成のために、ニジェール河沿岸のクラニバリア地区(1,380ha)に750haの灌漑水田を造成しニジェール河からの取水により、1,500戸の農家の入植を行い、水稻生産の拡大を図るため、本年度は、昭和56年度の事前調査に続き、S/Wの締結実施調査(現地調査)および最終報告書案の作成を行った。</p>	農村開発省農業土木局